

学校教育目標	すべての子どもが楽しい学校		
	◇みらいを創る子	豊かなかかわりを通して、夢や希望をもち、自分の力で進んでいく子を育てます(公)(開)(体)	
	◇のびる 高める子	いろいろなことに興味をもち試行錯誤を繰り返して探求する子を育てます(知)	
	◇わかち合い認め合える子	多様な考えを受け入れながら、仲間と感動を素直に分ち合える子を育てます(徳)	

学校概要	創立 2 周年	学校長 井上 強	副校長 大滝 文平	2 学期制	一般学級: 23	個別支援学級: 3
	児童生徒数: 人		主な関係校: 日吉台中学校 日吉台小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組
<協働して課題解決に向かう力> <自分づくりに関する力>	日吉台中 日吉台小 北綱島小 矢上小 日吉南小 箕輪小	自己のよさに気づき、友達のよさも認め合える子「笑顔」 進んで他者と関わり合い、地域に生きる子「あいさつ」 ・年間を通してあいさつの大切さを指導するとともに、計画委員会を中心に、子どもたちの発想を基に「あいさつ運動」に取り組みます。 ・合同授業研究会を実施し、9年間を見通したカリキュラム作り、授業展開を目指します。 ・小中一貫教育推進ブロック内の公開授業、児童生徒交流、教職員の協働で小中一貫教育の質を高めます。

中期取組目標	<p>教職員の協働性と特別支援教育の実践力を高め、全ての児童が楽しい学校生活を送れるようにする。業務の見直しを図り、働きやすい職場を目指す。保護者、地域から信頼される学校を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ楽しさやわかる喜びを実感し、主体的、対話的で深い学びが日々実践できるように、研究や研修を充実する。 ・特別支援教育の視点と組織で対応する児童指導体制を構築し、児童一人ひとりが安心して学校生活を送れるようにする。 ・保護者、地域、関係機関と連携を積極的に図り、協働して子どもを育てる風土を築く。 ・既存に囚われず業務の見直し、効率化・ペーパーレス化を図り、働きやすい、働きがいのある職場を目指す。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①GIGAスクール構想によるICT機器の日常的な活用を進める。また、機器の使い方やルールなど、6年間を見通して系統的な指導を行う。②主体的・対話的に学習に取り組む子どもの具体的な姿を明確にし、カリキュラムと授業の工夫と改善を行う。
豊かな心	①道徳の時間や他の教科、特別活動と関連させながら児童の自尊感情を高めるとともに、多様性を認め合い、思いやりの心を育てる。②特別活動を中心に児童が主体となり、学級、学年・学校づくりを推し進める。
健やかな体	①コロナ禍における児童の心のケアとガイドラインに沿って体を動かす機会を増やし、体力の向上に努める。②自分の健康は自分で守り高める保健指導の徹底(手洗い・マスク着用・換気の徹底、けがの予防)③健康な体づくりに不可欠なバランスよく食べる食習慣の定着を図る。
特別支援教育	①研修や情報交換を密に行い、教職員が特別支援教育のスキルと感度を高め、すべての子が楽しい学校の実現を目指す。②合理的配慮や特別な配慮が必要な児童への支援体制を全教職員で共有する。また「特別支援チーム」は、役割を明確にし、効果的に関われるようにする。③全職員で個別支援学級の児童を育てる意識を高め、個別支援学級と一般級の日常的な交流を進める。
児童指導	①スリム化を目指しつつ、実態に即した「箕輪スタンダード」の検討を重ね、徹底できるようにする。②全職員が徹底して一人を大事にする意識を高め、保護者、SC、SSW、関係機関と連携し協働的な組織体制を構築する。③SC・SSWの効果的な活用を図る。
未来を開く志	①エリアマネジメント計画やヒト・モノ・コトと豊かに関わり、SDGsを見据えながら、生活科・総合的な学習の時間等の単元開発を推し進める。②持続可能なまちづくりに児童が主体的に関われるようにするとともにグローバルな視野が広がるようにする。
地域連携	①コロナ禍における保護者、地域に開かれた学校づくりを推し進めていく。②学校運営協議会の立ち上げを見据えながら、学校教育目標、学校運営方針についての意見をいただく場を設ける。
	c8
いじめへの対応	①いじめ防止対策委員会を定期的開催し、小さな案件も見逃さないように日頃からの教職員の意識を高める。②児童へのアンケートを実施すると共に、児童を丁寧に聞き取り、児童理解に努める。③人権意識を高め、安心して豊かに生活できる学校づくりに努める。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①学校運営の徹底した効率化を目指し、既存に囚われず業務の改善を図る。②教職員のパフォーマンスを高める環境整備と風通しの良い職場風土の醸成する。③主幹教諭を中心にキャリアステージに応じて主体的自律的な判断ができる職員集団を目指す。④人事評価制度を適切に活用し、目標の共有と日々の観察、面談を通じて育成を図る。
担当	管理職